

制度融資の状況について

新潟県制度融資（平成14年度の実行状況）

- 経営安定資金 4 件 5 7 百万円
- 緊急経営資金 4 4 件 8 億 1 0 百万円
- 持家対策資金 6 件 3 2 百万円

新潟県制度融資残高（平成15年3月末現在）

3 2 8 件 2 3 億 5 1 百万円

市・制度融資（平成14年度の実行状況）

- 地方産業育成資金 5 件 2 0 百万円
- 経営安定化対策資金 3 件 1 2 百万円
- 住宅建設資金 1 件 4 百万円

市・制度融資残高（平成15年3月末現在）

1 3 7 件 5 億 8 百万円

地域社会および公共的事業に関連する主な融資

平成14年度の主な実行

- 一般国道拡幅に関連するもの 1 億 3 6 百万円
- 街路・道路等に関連するもの 5 億 2 6 百万円
- 地域総合整備事業に関連するもの 1 億 9 百万円

お客様および地域社会との関わりに関連するもの

- 地域活動と主な催し（平成14年度）
 - 6月 「信用金庫の日」献血運動に参加
 - 7月 「信金会（豊栄地区）」文化事業の開催と参加
 - 8月 「信金会（新発田地区）」文化事業の開催と参加
 - 8月 新発田祭り 民謡流し・祭りパレードへの参加
 - 1月 「年金友の会・冠月劇場」の開催
- 地域振興への主な協賛（平成14年度）
 - ・ 新発田育英舎改築事業への寄付 3 百万円
 - ・ 諏訪神社再建への支援奉納金 1 百万円
 - ・ 新発田台輪運行保存基金への寄付 3 0 万円

新発田信用金庫と地域社会

＜地域社会の繁栄に貢献できる信用金庫を目指します＞

平成14年度

新発田信用金庫の現況（別冊）

しんきんレポート 2003

新発田信用金庫

〒957-0053 新発田市中央町3丁目2番21号
TEL 0254-24-5100 FAX 0254-24-5109

新発田市 本店 駅前支店 緑町支店 西支店 加治支店

豊栄市 豊栄支店 豊栄北支店 新潟市 山ノ下支店 紫雲寺町 紫雲寺支店

新発田信用金庫

新発田信用金庫と地域社会

～で愛、ふれ愛、ささえ愛、を大切にし、地域社会と積極的に関わっていきます～

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、営業地区を新発田市、新潟市、豊栄市を中心に阿賀北地域となる北蒲原郡全域、村上市、岩船郡3町村、東蒲原郡2町村（15年版ディスクローザ誌の17頁をご覧ください）とし、地元の中小企業や住民の皆様が出資会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

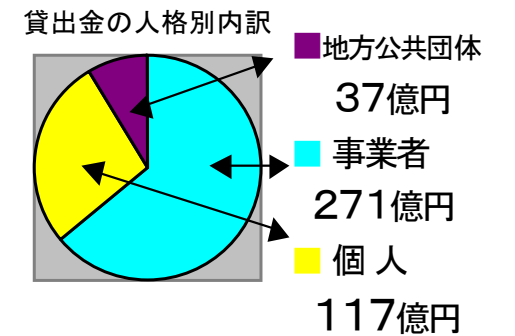
「地元の金融機関として大衆の信頼に応え、共存共栄の理念に基づき、地域社会の繁栄に貢献する」を基本方針として、大正13年の

創業以来、地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とされるお客様にご融資を行って、中小企業の発展と、地域の皆様の繁栄と豊かな暮らしづくりへのお手伝いをモットーに、地域社会の発展とともに歩んでまいりました。

今後も地域社会の一員として地元の中小企業の皆様や住民との強い絆を形成し、地域経済の活性化に向け積極的に取組み、地域社会との共存共栄を図ってまいります。

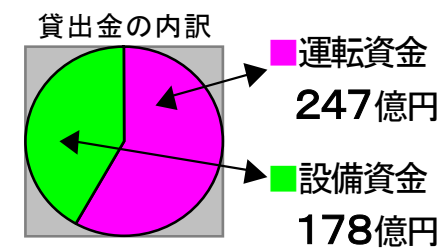
貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

当金庫は地域社会の繁栄に貢献するという基本方針に基づいて、信用金庫業務の公共的な使命を踏まえながら小口多数利用の原則に立って、地域の中小企業や個人の皆様の専門金融機関として特定の業種やお客様に偏ることなく、お客様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするように努めております。

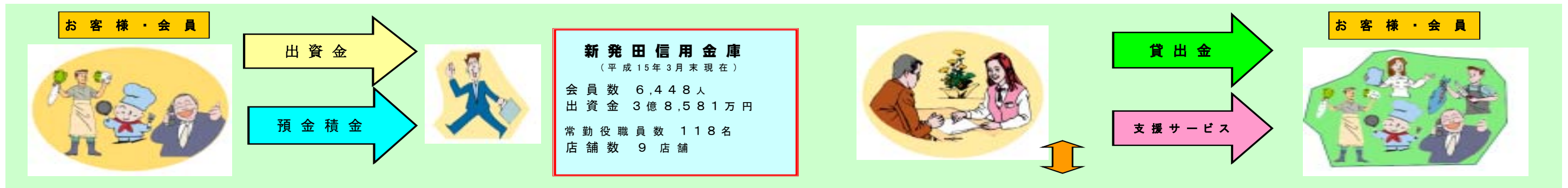
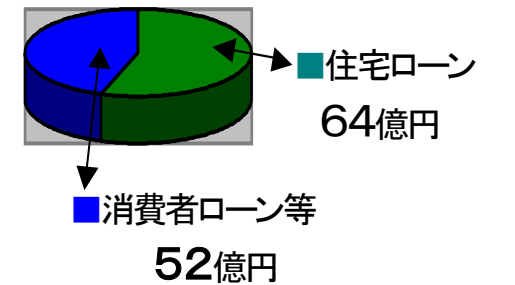


貸出金残高(平成15年3月末現在)

426億17百万円
 預金積金に占める
 貸出金の割合(預貸率)
 65.61%



住宅ローン等の内訳



預金積金に関する事項(地域からの資金調達状況)

当金庫では、地域のお客様の着実な資産づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

当金庫の特徴的な商品として、「消費税特別融資制度」のお申込のできる消費税専用の定期積金「笑納くん」や、毎年夏季と冬季には夢のある懸賞金付定期預金「ドンと来い!」をご提供いたしております。また、年金振込みのお客様専用の「ゆとり普通預金・貯蓄預金」、「ゆとり定期預金」などの金利上乘せでお得な預金もご提供しております。お客様の多様化する運用ニーズにお応えするため各種投資信託、個人向け国債、やスポーツ振興くじ「toto払戻業務」、生保・損保窓口販売業務もお取扱いたしております。

預金積金残高(平成15年3月末現在)

649億56百万円

決算に関する事項

平成15年3月期決算は、貸出金の伸び悩みや運用利回りの低下により厳しい状況下にありましたが、経費の削減や経営の効率化に努めるとともに、債権の売却・償却を進めた結果、49百万円の当期利益を計上いたしました。

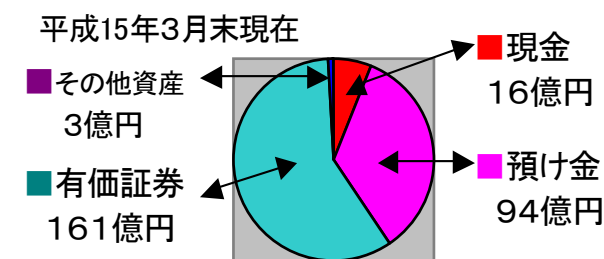
また、経営の健全性を示す自己資本比率は、前期比0.04%上昇して13.07%となりました。

平成15年3月期
 業務純益 1億93百万円
 当期利益 49百万円
 自己資本比率 13.07%

貸出金以外の運用に関する事項

当金庫ではお客様からお預かりした資金(預金積金)のうち、貸出金以外の資金(余資)につきましては、安全性と収益性に十分配慮した余資運用を行っております。

平成14年度の期末残高の前期比較では預け金が20億61百万円減少、有価証券は21億9百万円増加しました。



取引先への支援等(地域との繋がり)

当金庫では、後継世代の教育事業として「新発田育英舎改築」に14年度も引続きご奉仕をさせていただきました。

また、事業者の皆様々の資金ニーズにお応えすべく新たな商品開発に取り組むとともに、企業の経営改善・強化支援を目的とした職員の研修を推進し人材の育成を図っております。

また、お客様の声を反映した経営に務めるため、各店舗に組織される11の「信金会」活動や「年金友の会」親睦活動、「地区別総代会」での経営開示を行っております。